

令和2年度決算について(概要)

(1) 資金収支計算書

令和2年度の資金収支の状況は、当該年度の収入額が58億430万9,314円、これに、前年度より繰り越された28億4,630万2,778円を加えると収入の部合計は、86億5,061万2,092円となった。

一方、支出額は、32億2,302万7,639円であったので、差引25億8,128万1,675円が翌年度の繰越支払資金となり、昨年度より2億6,502万1,103円減少した。これは、収入における補助金収入の減や、支出における人件費支出・管理経費支出の増によるものである。

(2) 事業活動収支計算書

令和2年度の事業活動収支決算のうち、教育活動収支の概要について予算との対比で説明すると、収入については、全ての科目において予算額を上回った。

学生生徒等納付金については、26億2,421万580円、経常費等補助金は7億7,931万3,022円となった。これらの結果、教育活動収入額は、予算を6,239万3,004円上回り、35億9,387万5,004円となった。

一方、支出については、人件費を除く教育研究経費、管理経費において予算額を下回りその結果、教育活動収支における教育活動支出額は、37億8,223万3,660円となった。

教育活動収支差額は△1億8,835万8,656円となり、その他の教育活動外収支差額及び特別収支差額を合わせて、基本金組入前当年度収支差額は、△1億6,411万9,904円となった。

また、基本金への組入額は、4億7,251万8,553円となっている。この内訳は、牛田キャンパス3号館改築に伴う建設仮勘定の計上による第1号基本金組入額が22億2,241万8,553円、第2号基本金から第1号基本金への振替が、△18億390万円、第4号基本金への組入が5,400万円となっている。

基本金組入後の当年度収支差額は、△6億3,663万8,457円で、これに、前年度の繰越収支差額と基本金取崩額を合算した翌年度繰越収支差額は△45億924万1,731円となった。

(3) 貸借対照表

学園の財政状態を貸借対照表によって説明すると、令和2年度末現在の資産の総額は、150億9082万7,389円となった。その内訳は、有形固定資産107億2,298万6,978円、特定資産11億25万2,306円、その他の固定資産5億5,361万7,345円及び流動資産27億1,397万760円(内 未収金1億2,560万3,626円)である。

他方、負債の総額は、退職給与引当金、前受金など固定負債及び流動負債を合計して26億299万7,593円、基本金は、校地、校舎、機器備品、図書など教育研究に必要な資産の自己調達額を示す第1号基本金が169億9,707万1,527円、学校を恒常的に維持するための資金を示す第4号基本金が2億7,400万円となっている。